

## 令和3年度 第1回加賀市男女共同参画審議会 書面議決結果

令和3年度第1回加賀市男女共同参画審議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面での議決としました。結果は次のとおりです。

### 記

1. 開催日時 令和3年9月14日【文書送付日】  
令和3年9月30日【回答日】
2. 出席者 15名(50音順)  
新家尚子、上木敏子、越前朱美、大田俊介、尾島恭子、亀田喜一、  
菊池知子、北出弘信、西田晴美、西山佳孝、番場千香子、  
堀口康純、宮下一夫、宮永都、山井純子
3. 議事 (議長を除く14名からの回答結果による議決結果)
  - 1 令和2年度事業報告について  
承認14名 不承認0名
  - 2 令和3年度事業計画(案)について  
承認14名 不承認0名
  - 3 令和3年度市の審議会等における女性の登用状況について  
意見あり4名 特に意見なし10名
  - 4 第4次加賀市男女共同参画プランの策定について  
意見あり2名 特に意見なし12名

### 4. 意見等

#### 1 令和2年度事業報告について

- ①データ量が多いので、男女共同参画で特に顕著なものを掲載する方向で考えてはどうか。
- ②講演会、講座、セミナーはWEBで受講できるような配慮があると良い。

#### (回答)

- ①今年度「第4次男女共同参画プラン」策定にあたり、掲載内容について精査します。
- ②講演会、講座、セミナーの開催について、人が集まるのが難しい状況では、WEBで開催することを検討します。

## 2 令和3年度事業計画(案)について

- ①企業や各種団体等に対して、役職員(管理職)への積極的な女性登用を働きかけるとともに、登用状況を調査する。
- ②「女性活躍 絆・つながりサポート事業」の下線部は大いに良いが、それが「生理用品の配布」につながるの疑問。
- ③「女性活躍 絆・つながりサポート事業」は、地域に知らせる必要があると思う。
- ④コロナ禍で、講演会や講座の開催は難しいかもしれない。
- ⑤女性の区長登用にこだわらずに、どの役でも良いから引き受けて欲しいとう働きかけにした方が、女性役員が増えると思う。

### (回答)

- ①企業等に対して、役職員(管理職)への積極的な女性登用を継続して呼び掛けていきます。  
登用状況については、「加賀市男女共同参画に関する事業所実態調査」において調査を行っております。(平成29年度における女性の管理職の割合は28.3%)
- ②相談事業に付随して、経済的に困っている方に対して、女性の生活必需品である生理用品の提供を行っています。
- ③「広報かが」と「市ホームページ」に掲載し、スーパーマーケットや美容室等の女性が一人になることがある店舗にリーフレットを配布しました。  
また小・中学校、高等学校、民生委員・児童委員の皆様に事業の内容をお知らせしております。さらに委託先のNPO法人、社会福祉法人においても各法人のつながりの中で、広報活動を行っています。引き続き、事業の周知啓発を行います。
- ④新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、安全に配慮し開催を検討します。
- ⑤現在も女性区長登用に加え、女性役員登用の呼び掛けを行っており、継続して呼び掛けを行っていきます。

### 3 令和3年度市の審議会等における女性の登用状況について

- ①女性登用状況の項目に新たに市内企業の女性管理職の割合、各種団体の女性役員の割合を追加してはどうか。
- ②継続して意識的に進めてください。
- ③市が掲げる数値目標には届きませんが、僅かながらも割合が増加していることは良いことだと思う。地道な取組みの継続が必要。町内会の女性役員数は増えたが、女性区長が減ってしまったのは残念。
- ④世代交代しないと女性の登用に急激な変化は見られない。根気よく働きかけていく必要があると思う。

(回答)

- ①登用状況については、「加賀市男女共同参画に関する事業所実態調査」において調査を行っております。任意団体について、男女平等の観点から自発的に男女どちらからも役員が選出されるよう、広く男女共同参画の意識啓発に努めていきます。
- ②③④数値目標を設定し、男性と女性が協力して施策を進められるよう、継続して取り組みます。

### 4 第4次加賀市男女共同参画プランの策定について

- ①計画の基本理念の「家庭生活における活動と他の活動の両立」「妊娠、出産その他の生殖に関する事への配慮」は特に大切に雇用できるよう。また改善できるように取り組んでください。女性は、このあたりが変わらない限り十分に働くことができない。
- ②産休後の復職がスムーズにしている職場とそうでない職場の格差が大きいので、経営者、管理職の男性の意識改革に力を入れて欲しい。
- ③理系の女性を増やす必要がある。

(回答)

- ①②女性が、家庭生活や妊娠、出産等に関わらず働きやすい環境を整備することは、男性にとっても働きやすい環境の整備に繋がります。事業所や市民の皆様に家庭や職場での男女共同参画推進を継続して呼び掛けます。
- ③学校教育では、男女平等の教育が進んでいますが、固定的な性別役割分担意識等にとらわれ

ずに主体的に進路や職業を選択できる環境づくりが必要と考えています。

5 その他加賀市男女共同参画について、ご意見やご質問がありましたらご記載ください

- ①女性が安心して働ける社会でなければ、働きたくても十分その力を発揮できない。不妊治療なども女性の負担が大きく、全てが女性に偏り、働くためには多くを諦めるしかない。共同参画は大切だが、一人ひとり葛藤を抱えている。
- ②男女平等意識が進んでいると思われる学校教育においても、まだまだ教師自身に固定観念や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)が存在している。さらなる意識改革と理解の促進を図る必要があると感じています。
- ③(男女共同参画について)広報などで周知しているが、町内の会合で話題になることはなく、もっと周知方法を考えなければと感じます。個人の力では難しいです。家族単位の共同参画では良い方向になっていると思えています。
- ④農村部の町内会役員に女性が入ってもらうのはまだハードルが高いです。
- ⑤まだまだ男尊女卑の封建的な思想が根強く残っていると思うので、根気よく意識改革を継続して欲しい。
- ⑥高齢男性の意識改革は容易ではありませんが、若い世代が一丸となって声を上げ続けて欲しい。中年世代も若い世代に協力を継続して欲しい。

- ①妊娠、出産や不妊治療など女性の負担が大きい時には、男性と女性がお互いに理解をし合い、協力しあう環境整備がより一層重要になります。また周囲の理解も重要になりますので、事業所の理解促進に努めます。
- ②無意識の偏見や固定的な性別役割意識に捉われず、周囲から同調を求められない社会の実現のため、男女共同参画意識の啓発を推進します。
- ③④⑤地域では、女性が活躍しにくい地域もあると思われるので、社会のあらゆる分野で男女共同参画意識が浸透されるよう継続して啓発を行います。

以上